

2025年（令和7年）12月2日（火曜日）（7）

中小の健康管理が課題

OCHIS

小規模ほどハイリスク

ヘルスケアネットワー
ク（OCHIS、武田
裕理事長）は11月21日、
大阪市で健康管理の重要
性をテーマにしたセミナ
ーを開き、オンライン配
信も含め約110人が参
加した。作本貢子副理事
長は「中小トラック会社
の健康意識を底上げする
ことが不可欠」とし、受
け取った。

診でできる環境づくりや関
連法令強化を提言した。
19回目の今回「中小企
業の健康管理を考える」
をテーマに設定。全日本
トラック協会の坂本克己
最高顧問も駆け付け「ド
ライバーの健康を向上さ
せてきた」とこれまでの
活動をねぎりつた。

OCHISが提供する

ドライバーの定期健診
断後のフォローを支援す
る「運輸ヘルスケアナビ
システム」の分析による
と、社員300人未満の
企業の健康管理の難しさ
が浮き彫りになった。肥
満、高血圧、脂質異常、
高血糖のうち3項目以上

に該当する「ハイリスク
者」は、社員数が少ない
ほど全体に占める割合が
高くなっている。

2024年度のデータ

では、300人以上の企

業で15・3%、50人以上

も含めた受診しやすい環
境の整備、経営者の意識
改革も提倡した。

事例紹介ではスタンダ

ード運輸の小林猛社長が

登壇した。19年に運輸ヘ

ルスケアナビシステムの

活用を開始し、再診の初

を」と呼び掛けた。

作本副理事長は結果を

基に、労働安全衛生法で

の定期健診報告義務の要

件について、現在の社員

50人以上から30人以上と

する見直しを提案した。

さらに、オンライン診察

た。

（遠藤
仁志）